

### 県新人大会 テニス女子団体3位入賞!

10月7日に行われた県新人大会テニス女子団体戦で3位入賞を果たしました。

県新人団体3位に入賞して

部長 引地ゆい  
 (2年・岩沼中出身)



3位決定戦は強豪の仙台三高が相手でした。降雨のため試合が中断する中、集中力を途切れさせずに、全員が冷静に、かつ熱い試合をすることができました。勝ちたい思いと応援してくれる部員みんなの声、先輩方の励ましが勝利へと導いた一番のポイントです。これを機会に、名取北高女子テニス部の新たな伝統を作ってゆきたいです。練習や試合などで色々協力いただいた保護者の方々、忙しい中、朝練習でもご指導いただいた二階堂先生、いつも試合会場で元気づけてくださる佐藤英俊先生、本当にありがとうございました。



テニスを通して心身を鍛え、心を磨き、高校最後の総体では、打倒私立高を目指し頑張っけてゆきたいです。苦しい時期もありましたが、この結果を励みに、もっと良い方向へ進んでゆけると思います。今後とも応援をよろしく願いいたします。

### 水泳個人、野球は県ベスト8に

9月21~23日に行われた県新人水泳大会で、佐久間瑞歩さん(1年・柳生中出身・写真右)が100m自由形で7位、50m自由形で8位に入賞しました。また、野球は9月21日、県秋季大会において健闘しベスト8に入りを果たしました。(県新人



大会は9月から1月に掛け、各競技毎に開催されます。)

### PTA研修旅行石巻方面へ 10月7日

26名が参加し、石ノ森萬画館、慶長遣欧使節船サンファン館(右写真)、シーパルピア女川、石巻専修大を見学し、研修や様々な情報交換を通し、生徒を支援するPTAの仲間の輪を広げました。



### 東北高校新人陸上大会男子5000m競歩で5位入賞

10月1日、岩手県北上総合運動公園で開催された東北新人大会男子5000m競歩

で大内奎吾さん(2年・村田二中出身)が5位入賞を果たしました。来年の東海インターハイ出場に向けて、ますますの活躍が期待されます。



先頭集団に迫る大内さん(右から2人目)

### 東北みやぎ復興マラソン2017にボランティア参加



10月1日、第1回開催となる復興マラソンに、34名の生徒が運営スタッフとしてボランティア参加しました。岩沼海浜緑地をスタートし南下、亘理荒浜から沿岸部を北上し、関上を經由、再びスタート地点に戻るルートで、かさ上げ道路など新しく整備されたエリアや、震災当時の面影を残すエリアを走るコースです。ランナー11,000人、ボランティア3,000人が参加しました。

### 復興マラソンボランティアに参加して

山口華純(2年・みどり台中出身)

ボランティアとして給水所を担当し、バナナやトマトを運んだり、冷えた水をコップに汲んで行く作業をしました。懸命に走る人や仮装しているランナーなどさまざまな方が参加しており、送る声援や水や果物類の提供に、多くのランナーの方から感謝の声を掛けていただきました。作業は大変でしたが、とてもやりがいのある楽しいボランティアでした。また参加したいと思いました。



### 夢ナビライブ2017に130名が参加



10月7日に夢メッセで開催され、学問の面白さや各大学のガイダンスを通し、様々な発見をしました。

### 夢ナビに参加して

佐藤智香(2年・増田中出身)

大学の講義や参加者の高校生が想像以上に多く、大規模なイベントを通し貴重な体験ができました。「100円ショップから見る日中関係」、「農家とロボットが築く未来」など、普段話題にならない学問分野にも触れることができ、外国や経済の話などにも興味を湧きました。さまざまな講義に触れ、詳しく知りたかった大学の説明も聞くことができ、もっといろいろな分野を知りたいという気持ちが強くなりました。



### 演劇部 教育長を表敬訪問

みやぎ総文2017の各部門で入賞した各校は、9月28日、県庁に高橋仁教育長を表敬訪問し、本校演劇部は優良賞の報告を行いました。



名取北高校出身で教育界で活躍されているOBも多くいらっしゃいます。今回は、柴田高、角田高、仙台二華高等で教鞭を取り、県総合教育センター指導主事を経て、現在金津中学校教頭として活躍の山田善弘さん（4回生・昭和60年卒）から、北高生へメッセージをいただきました。

**今の時間を大切に**

角田市立金津中学校 教頭 **山田善弘**



私は生まれも育ちも増田です。当時地元で新設されたばかりの北高は、グラウンド周囲の樹木も植えられたばかりでした。増田中から見える北高生の部活動風景や文化祭などで見学した活動の様子はとても活気があり、志望校を決めるときに魅力的に見えました。在校当時は新設校らしく新進気鋭の先生方から授業や部活動で熱心に指導を受けたことが思い出されます。部活動はハンドボール部に所属し、女子ハンド部と刺激し合いながら日々練習していました。部活動だけに偏ることなく、クラスや校内の活動でも友人ができたことで高校生活が充実していたことが楽しい思い出です。生徒の良さを見つけ出ししてくれる先生方とその思いに本気で応える生徒たちがつくり上げる「前に向かおうとする」雰囲気になった北高での生活が、私が教員を志した原点になっているのだと思います。

学校だよりを拜見すると、後輩諸君は自分の良さを様々な場面で発揮して活躍しています。校舎正門の懸垂幕に記された華々しい成果だけでなく、日々堅実に歩んでいる様子を聞くにつけてOBとして誇らしく思います。北高は現在も生徒の多様な進路に応じて生徒一人ひとりに寄り添った親身な指導をしており、教員志望者も多いと校長先生から伺いました。後輩諸君にはこれからも自分の可能性に自信を持ち、やってみることに臆することなく積極的に挑戦してほしいものです。これからは社会に必要とされる人材が北高で育って行くことを卒業生の一員として願っています。

**教師を志す高校生支援事業**

県教委が主催する本事業は毎年夏に実施されます。今年8月9日、宮城教育大学で開催され、本校の草陽介教諭がパネラーとして講師を務めました。

**教師を志す支援事業に参加して**

**武田紗良**（1年・大河原中出身）

パネルディスカッションでは様々な角度から話を聞くことができました。

「元気（エネルギー）を子どもたちから受け取るおかげで頑張れる」という先生方の話を聞き、教師への憧れをさらに強く持ちました。また、グループワークを通し、他の意見を聞くことで更に自分の考えを深める体験ができました。講義では「遊び」が「学び」に繋がるという話を聞き、体験することが楽しみとなるのがわかった気がしました。これからもたくさんさんの経験を積み、自分の目指す姿に近づいてゆきたいです。



**地域の皆様に支えられ**

9月15日、地域交通安全運動推進委員の皆様や岩沼警察署の方々に来校いただき、交通安全委員の生徒とともに、自転車の安全運転を呼び掛けました。



10月4日には明るい名取市選挙推進委員会の皆様においていただき、投票啓発運動が行われました。



10月15日には名取市社会福祉協議会の皆様のご協力で、奉仕活動部が赤い羽根共同募金をイオンモール名取で行いました。地域の皆様の支援に改めて感謝申し上げます。



**宮城県高等学校校文芸作品コンクールの各賞で入選**

昨年に続き、部誌部門で『霽 12号』が入選。短歌俳句部門でも入選を果たしました。また、文芸部は10月19日20日に山形で開催された高文連北海道・東北文芸大会に参加しました。

俳句部門 入選

風鈴が 遠くでうたう 目をとじた

星 礼菜（3年・増田中出身）



まさか入選するとは思っていませんでした。この句は夏休みに作ったものです。普段通る道の途中で風鈴を吊るしている家があり、その透明感ある風鈴の音が心地よく、いつも心に響いていたような気がします。これをきっかけに夏のひとコマをイメージして詠みました。

短歌部門 入選

嘘と本音 鏡合わせの言葉に人々惑わすその魔術師は

曾我あすか（2年・関上中出身）



「嘘」をイメージすると、「人を惑わす」姿が想像されました。一見、他と何も変わらない普通の人が、言葉で人を惑わす。何が本当か分からなくなるこの「悪」の存在を「魔術師」として表しました。

**薬物乱用防止教室開催**

9月12日、本校学校薬剤師の轡 基治先生による保健講話を開催し、身近に潜む薬物依存の恐ろしさについて、2年生がお話を伺いました。違法薬物だけでなく、サプリメントやダイエット食品についても、使用目的が生活や人生を正してゆくものなのか、主作用と副作用を理解しているか等について十分調べ考えることの重要性を学びました。



**【宮城県名取北高等学校】**

〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田103

TEL 022-382-1261 FAX 022-384-8976

HP <http://natorikita.myswan.ne.jp>

mail [chief@natorikita.myswan.ne.jp](mailto:chief@natorikita.myswan.ne.jp)

(担当) 教頭・町田尚彦

(学校だよりのご感想をお寄せください)

